

NPO 法人 FootRoots (滋賀県彦根市小泉町 737)

PRDP－プラスチック・リサイクル・デザイン・プロジェクト

本事業では、教育と意識の向上およびプラスチックの再利用方法の普及と指導に焦点を当て、プラスチック問題を多くの人々と共有することを目的に、滋賀県立大学生や企業と連携し、ペットボトルのキャップを利用して身近な物等へリサイクルするワークショップを実施しました。

ペットボトルのキャップは、専用のボックスを滋賀県立大学のキャンパス内に設置して回収しました。また、株式会社三峰環境サービスと連携し、敷地内の作業所にプラスチックリサイクルの一連のプロセスを示すことができ、ワークショップなどのイベントも開催できるワークスペースを整備しました。

ワークショップには県内外の子どもたちとその保護者が参加し、参加者自らペットボトルのキャップを粉砕機に投入し、砕いたプラスチックチップを押出機で溶かして型枠に押し込み、さまざまな形のタイルやコースターを製作しました。

参加者からは、「普段何気なくごみを捨てるときに分別していたプラスチックが、簡略化されているが実際にこのようなプロセスでリサイクルされていることを知ることができて良かった」「体験を通して分別の意識がより強くなった」などの声を聞くことができました。

引き続き、このワークショップをブラッシュアップして実施する予定です。

ただ単にプラスチックが環境に悪いと思うのではなく、人がどのように扱うかが大切で、小規模でも分別やリサイクルが重要であるということを伝えることで、日常のプラスチックごみを資源として捉え直してもらい、ごみの削減につなげたいと考えます。



ワークショップのようす



製作したタイル等